

公益財団法人沖縄県立芸術大学芸術振興財団

経 営 計 画

平成 26 年 8 月 29 日

公益財団法人沖縄県立芸術大学芸術振興財団

I 本計画の趣旨

公益財団法人沖縄県立芸術大学芸術振興財団は、沖縄県立芸術大学並びに沖縄県内における芸術文化の振興に関する必要な助成・支援事業を行い、県立芸術大学及び地域社会の芸術文化の発展に寄与することを目的として、昭和 62 年 11 月に沖縄県、県内市町村及び県内団体・個人等からの支援を受けて設立された。

設立にあたっては、沖縄県から 4 億円、県内各市町村から 2,400 万円、県内団体・個人から 9,300 万円、合計 5 億 1,700 万円の出捐金により基本財産が造成された。

当財団は、その設立の趣旨をふまえ、県立芸術大学及び地域社会の芸術文化の発展に寄与するため、様々な芸術文化活動への助成・支援を行っている。

平成 23 年度は 488 万円、平成 24 年度は 693 万円、平成 25 年度は 693 万円を助成・支援を行っているところである。

また、平成 25 年 7 月には公益財団法人への移行を契機として、これまでの運営体制を抜本的に改め、助成・支援事業を行う主体的な体制が整備されたところである。

助成・支援事業においては、県立芸術大学の教育活動、研究活動及び社会貢献活動に対する助成・支援、県立芸術大学の学生及び研究生に対する奨学金の給与、地域社会の芸術文化活動に対する助成・支援を行っているが、近年は県立芸術大学の教育研究活動への助成・支援活動に対しニーズが高くなってきている。

当財団では今後、より一層の助成・支援事業の拡充を図るとともに、公益財団法人移行を契機として、これまで以上に地域社会貢献が求められている状況に鑑み、基本財産の拡充とともに、運営体制の強化、助成・支援事業の整備を図るため本計画を定めるものとする。

Ⅱ 本計画の基本的な考え方

1 目的

この計画は、今後、より一層の助成・支援事業の拡充を図るとともに、公益財団法人移行を契機として、これまで以上に地域社会貢献が求められている状況に鑑み、基本財産の拡充とともに、運営体制の強化、助成・支援事業の整備を図り、県立芸術大学及び沖縄県内の芸術文化活動のさらなる発展に寄与することが目的である。

2 計画の性格

この計画は、運営体制、助成・支援事業、経営方針の目標を明示し、計画期間内における当財団の基本方針となるものである。

3 実施期間

この計画の実施期間は、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間とする。

4 計画の見直し

この計画は、県立芸術大学における教育研究活動、地域社会貢献活動に関する動向、地域社会の芸術活動に関する動向及び当財団の基本財産の運用状況を勘案し、必要に応じて見直すものとする。

Ⅲ 沖縄県立芸術大学芸術振興財団の運営強化に向けた基本方針

1 計画期間中における取組

(1) 運営体制の整備及び規程類の見直し

当財団の運営体制について、公益財団法人移行後は 1 名の専任職員及び 1 名の常勤理事で業務を行っている。

事務局については、専任職員が諸業務全般を担当することから、実務に関する研修体制を整え運営能力の向上を図る必要がある。

また、公益財団法人移行後、管理規程については一定の整備を行ったが、事業実施規程については整備が遅れており、その整備を図る必要がある。

(2) 適正かつ効率的・効果的な助成事業の遂行

当財団は、沖縄県立芸術大学及び沖縄県内の芸術文化の発展に寄与するため、同大学教員、生徒及び沖縄県内において活動を行っている芸術文化団体への助成・支援事業を行っている。

公益財団法人移行後は、外部有識者による助成事業選考委員会を設置し、助成・支援事業の採択にあたっての客観性・公平性の確保を図ってきたところである。

今後、助成・支援事業のあり方については、今まで以上に公益性を担保しつつ、その内容、対象事業及び経費について検討を加え、適正かつ効率的・効果的な助成・支援事業を行えるように取り組む。

(3) 広報活動の強化

当財団の広報活動に資するため、平成 25 年 4 月にホームページを開設したところである。その内容については当財団の概要、助成支援事業の募集要領、決算等を掲載し、当財団の活動について情報を発信しているところである。当ホームページは開設以降見直しを行っていないことから、より見やすいホームページの作成を検討する。

また、本財団の活動を広く周知する観点から、広報誌の作成を検討する。

2 公益事業の安定的継続実施

基本財産の運用に当たっては、平成 23 年度から外国債の購入拡大を行うなど見直しを行ってきたところであるが、より一層の安定的な収入を確保するため、今後は基本財産運用収入の他に県立芸術大学学生の保護者、教職員及び企業に対する多方面への寄付金の呼びかけの拡充、その他の方策を検討していく。

併せて、基本財産の拡充について方策を検討する。

年度別収入額

年 度	基本財産運用収入	寄付金収入	そ の 他	合 計
H23 年度	9,090,406 円	10,000 円	3,007 円	9,103,413 円
H24 年度	12,888,791 円	1,100,000 円	4,561 円	13,993,352 円
H25 年度	10,092,741 円	41,500 円	7,388 円	10,141,629 円
H26 年度（予算）	11,461,528 円	400,000 円	1,063,000 円	12,924,528 円

IV 実施事業

1 県立芸術大学の教育活動、研究活動及び社会貢献活動に対する支援

県立芸術大学は、県内・外から広く学生を募集して、人間性と芸術的創造力及び応用力を育成し、また、沖縄文化が作り上げてきた個性の美と人類普遍の美を調査・研究して、その成果を地域社会に還元することにより、芸術文化の発展に寄与することを目的としている。

当財団は、県立芸術大学が行う教育活動、研究活動及び社会貢献活動を支援し、人材を育成するとともに、成果を広く一般社会に還元することにより、沖縄の芸術文化の発展に寄与することを目的として学生及び教員の活動に対して助成・支援事業を行っている。

平成 23 年度は 126 万円、平成 24 年度は 244 万円、平成 25 年度は 298 万円を助成しているところである。

今後とも学生及び教員の芸術文化活動に対して助成・支援事業の充実が図られるよう、事業採択のあり方や費用対効果の検証方法について検討する。

2 県立芸術大学の学生及び研究生に対する奨学金の給与

当財団は、県立芸術大学の学生のうち、学業優秀でありながら、経済的な理由により修学が困難な者に対し、人材育成に寄与する観点から、奨学支援を行っている。

平成 23 年度は 288 万円、平成 24 年度は 384 万円、平成 25 年度は 372 万円を助成しているところである。

近年、奨学支援事業については本財団奨学金の他、日本学生支援機構奨学金制度が充実してきている状況から、当財団の奨学金のあり方について検討する。

3 地域社会の芸術文化活動に対する助成

本事業は、沖縄県内に活動の拠点を置いている団体及び個人が実施する芸術活動を支援することにより、沖縄の芸術発展に寄与することを目的とし助成・支援事業を行っている。

平成 23 年度は 73 万円、平成 24 年度は 64 万円、平成 25 年度は 23 万円を助成しているところである。

今後は、これまで以上に地域社会貢献が求められていることから、沖縄県内に活動の拠点を置いている団体及び個人に対する助成・支援事業に関する広報を強化し、当財団の芸術文化活動に対する助成・支援事業についての普及を図る。

V 経営計画の実行スケジュール

本計画は、下記スケジュールに基づき実行する。

取組事項	内 容	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目 標
運営体制の整備及び規程類の見直し	整備及び見直し	検 討	実施				整備及び見直しの完了
適正かつ効率的・効果的な助成事業の遂行	助成事業の効率化	検 討		実施			助成事業の効率化
広報活動の強化	広報活動の強化	検討		実施			ホームページの充実及び広報誌の発行
公益事業の安定的継続実施	収入の安定的な確保	検討・実施		実施			毎年度継続